

問い合わせ先  
第十一管区海上保安本部  
海洋情報監理課長 米須 清  
TEL098-867-0118(内線2510)

平成23年 8月26日  
第十一管区海上保安本部

## 9月12日は何の日？(水路記念日)

9月12日は、1871年(明治4年)9月12日に、兵部省(ひょうぶしょう)海軍部水路局が誕生し、組織的に我が国独自で海図の作成を開始したことを記念して制定された「水路記念日」で、今年で140回目です。

当本部では、この第140回水路記念日の関連行事として、マリナーの安全に有益な情報など海に関する各種情報を「海洋情報パネル展」と称しパネル展示を実施しており、9月12日(月)には沖縄美ら海水族館のパネル展示前で臨時海の相談室を開催します。

### 海洋情報パネル展及び臨時海の相談室

#### ①場所：沖縄美ら海水族館

期間：8月16日(火)から9月15日(木)まで

内容：臨時海の相談室(場所：水族館出口ゲート前 9月12日(月))

パネル展示：沖縄の海の特徴、リーフカレント、海図で見る今昔、3D海底地形など

備考：パネル展の見学には沖縄美ら海水族館への入館(有料)が必要です。

同水族館の開館時間は8時30分～20時00分(入館締切19時00分)です。

#### ②場所：那覇港湾合同庁舎(第十一管区海上保安本部)1F

期間：9月9日(金)から9月20日(火)まで

内容：リーフカレント、3D海底地形、海の相談室、  
明治初期に刊行された那覇港等の海図の紹介



「沖縄美ら海水族館」での展示の様子

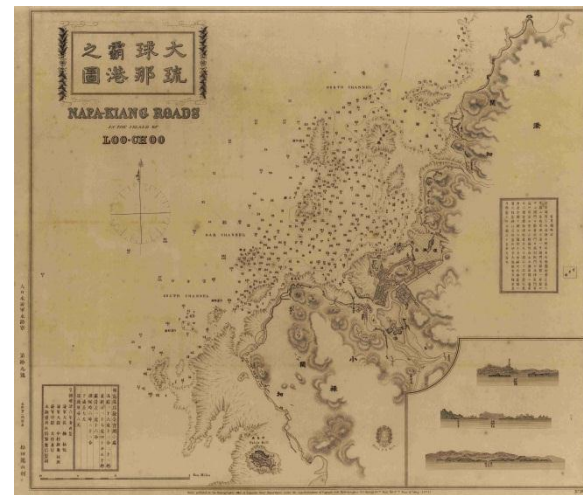
## 「水路記念日」とは

明治初期、次々に日本に來航したイギリスをはじめとする諸外国が、日本沿岸の測量を行い、海図を作るなどして、日本周辺の地を明らかにしていく事態に、明治政府は、国防のみならず海運のために、自ら測量して海図を作成することの重要性を認識し、1871年（明治4年）9月12日に、兵部省海軍部水路局を設置し、組織的に我が国独自の海図の作成に取りかかりました。

1951年（昭和26年）の水路部創立80周年記念事業を基に、7月28日「水路記念日」が制定されましたが、1971年の創立100年を期して、太陰曆から太陽歴に換算し9月12日としました。100回を記念した式典では、現天皇陛下・皇后陛下（当時皇太子・同妃殿下）をお迎えして盛大な式典が東京で行われました。

### <変遷>

1871年(明治 4年)	9月12日	兵部省海軍部水路局
	(旧曆 7月28日)	
1872年(明治 5年)	4月 5日	海軍省水路局
	(旧曆 2月28日)	
1872年(明治 5年)	11月13日	海軍省水路寮
	(旧曆10月13日)	
1873年(明治 6年)		運天港・那覇港・石垣港等南西諸島海域の測量実施
1874年(明治 7年)	2月	「八重山島石垣港図」「慶良間海峡図」
1874年(明治 7年)	5月	「大琉球那覇港之図」
1874年(明治 7年)	8月	「琉球国運天港之図」
1876年(明治 9年)	9月 1日	海軍省水路局
1882年(明治15年)		全国海岸測量実施
1886年(明治19年)	1月29日	海軍水路部(海軍大臣に属する機関(海軍省外局)となる)
1888年(明治21年)	6月27日	水路部(海軍の冠称を廃し水路部と改称)
1903年(明治36年)		全国海岸測量の沖縄関係の測量開始
1917年(大正 6年)		全国海岸測量の終了(沖縄関係も終了)
1921年(大正10年)	11月29日	水路部(運輸省外局となる)
1917年(大正 6年)		全国海岸測量の終了(沖縄関係も終了)
1927年(昭和 2年)~		沖縄関係の海図を刊行
1949年(昭和24年)	6月 1日	海上保安庁水路部
1950年(昭和25年)		米軍水路資料を基に那覇港、中城湾港の海図改版
1955年(昭和30年)		米軍水路資料を基に那覇港の海図改版
1972年(昭和47年)	5月15日	第十一管区海上保安本部が開設(水路課設置) 那覇港から水路測量を始める
1987年(昭和62年)	5月21日	第十一管区海上保安本部水路監理課、水路調査課に分課
2002年(平成14年)	4月 1日	海上保安庁海洋情報部 第十一管区海上保安本部海洋情報監理課、海洋情報調査課



南西諸島におけるわが国における測量により刊行された「大琉球那覇港之図」（明治7年5月刊行）

海図の作成だけでなく、水路通報・航行警報などの航海の安全に必要な情報を提供するとともに、防災や環境保全などに関連した海洋調査を行い、様々な海洋に関する情報の提供を行っています。

現在、当管区海域の海図は38版、電子海図54セルを刊行しています。